

相模原市役所（所在地：神奈川県相模原市）

事業名

インクルーシブ・プログラム開発事業

主な連携先

相模女子大学

主な対象

発達障害・知的障害

事業の趣旨・目的

- ・大学の場を活用した、障害の特性に配慮した若者世代の学びや交流に関する開発と実践
- ・教育、福祉等の連携による学びや交流のための推進体制の検討
- ・理解促進のための情報発信や啓発活動

事業実施体制

連携協議会構成員：コーディネーター、プログラム開発参加協力者代表（当事者・学生）、相模女子大学、東京学芸大学、特別支援学校、インクルーシブ教育実践推進校、相模原市社会福祉事業団、民間福祉事業所、相模原市教育委員会（生涯学習課、教育センター、青少年相談センター）、相模原市（高齢・障害者福祉課、スポーツ推進課、療育センター陽光園）

学習プログラムの内容

令和4年度は前年度の実績を踏まえ、以下の2本柱で開発を進めた。

I. 当事者と学生の交流を目的としたクローズドなゼミと、市民を対象としたオープンなセミナーを組み合わせた、他大学でも汎用可能な「**インクルーシブ生涯学習プログラム**」の開発

II. 上記Iの運営に当事者がメンターとして参加し、他の当事者を含む市民に対してプログラムの魅力を広く発信するメディア技術や、参加者をサポートする心構えを身につける「**エンパワメント・プログラム**」の実践

※当事者が活動を下支えする一員として活躍する点が、取り組みの特長である。

今年度の取組状況

- インクルーシブ・プログラムの開発と実践：エンパワメント・プログラムは7月から開始し、8月には近隣の小中学校教員対象の研修会で当事者が問題提起する機会を持った。生涯学習プログラムは9月から開始し、10/1、10/22、12/10には市民の誰もが参加・交流できるオープンセミナーを開催した。
- 地域への発信：啓発リーフレットを作成・配布。
- 市民意識の調査：アンケートを実施。
- 連携体制：連携協議会を7月、12月、2月に開催し、当事者も交えて今後に向けた意見交換を行った。

その他研究の詳細など

【事業報告書】
行政と大学の連携・協働を通じたインクルーシブ生涯学習プログラムの開発



相模女子大学
ホームページ



【啓発リーフレット】
「ともに学び
ともに生きる
さがみはら」



インクルーシブ・リサーチ



メディア活動



オープンセミナー